

社会の変化に対応した教育の推進

(ア) 情報教育

【現状と課題】

急速に発展する社会の情報化に対応するため、児童生徒の情報活用能力（情報リテラシー）をはぐくむとともに、情報モラルの育成、情報安全教育の充実が求められています。

「平成19年度の学校における教育の情報化の実態に関する調査」（文部科学省）によると、本県の教員のICT¹活用指導力は、概ね全国平均を上回っていますが、国がIT新改革戦略において目標としている100%の達成には、さらなる指導力の向上が必要です。

また、同調査によると、本県の学校におけるICT環境の整備状況は、コンピュータ1台当たりの児童生徒数は、全国平均を上回っていますが、普通教室における校内LAN整備率、超高速インターネット接続率、教員の校務用コンピュータ整備率は、全国平均を下回っています。

インターネット社会における人権侵害等の様々な問題に対応するため、小、中、高等学校等において、体系的な情報モラルの指導を充実させる必要があります。

【これからの施策の方向性】

児童生徒が、学校において、コンピュータ等に十分に触れ、情報活用能力の育成が図られるよう、ICT環境の整備とともに、ICTを十分に活用した取組を推進します。

児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育を充実します。

【主な取組】

市町村とも連携し、学校におけるICT環境の整備に努めます。

児童生徒がコンピュータ等に触れる機会を拡充するとともに、ICTを活用した授業のできる教員の育成を図るため、各種研修講座の充実に努めます。

情報モラル教育については、外部講師を活用した教職員研修や指導で活用する教材の充実に努め、児童生徒や保護者への指導・啓発を推進します。

¹ ICT：Information and Communication Technologyの略。情報コミュニケーション能力、情報通信技術と訳される。
IT（Information Technology：情報技術）と同義。